



俺だけの  
男の巫女

~運命の出会いで子作りエッチ~

基本CG9枚+a 本編たっぷり140枚収録!

一生に一度の決意で  
告白した女に  
先目手ひどく振られた

俺はただ  
女がいない場所に  
行きたかった

だから山にきた……  
本当にそれだけなのに……

傷心旅行で  
遭難だなんて……  
俺の人生  
ついてない……

おお、神よ！  
お願いします！

どうか、俺を  
本当に安らげる場所に  
導いてください！

すると突然  
雷鳴が鳴り響き  
雨が降り出した

そんな、天気予報は  
晴れだと  
言っていたのに！

どこか  
雨を凌げる  
場所は……

ふと  
茂みの向こうに  
トンネルが見えた

もしかしたら  
この先に村が  
あるのかもしれない……

光さず  
出口の方に向かって  
俺は駆け出す

あれ……  
ここは一体……

俺はトンネルを  
歩いていたはず

気がつくと  
見覚えのない部屋に  
寝がされていた

あら……  
起きましたか？

え……  
巫女……さん？



ここは  
一体……？

ここは  
葛尾木村です

御使い様はトンネルの  
入り口で倒れてたのを  
発見されて、ここに  
担ぎ込まれたんですよ

みつかい……？

申し遅れました  
私、日枝田史緒といひます  
この巖神神社の  
巫女をしております

あ……  
わたらいくと  
度会行人  
大学生です



行人さんか……  
ふふ……

お疲れのところ  
申し訳ありませんが  
念のため聞いておきたい  
ことがあるのですが

はい？

セックスの経験は  
おありですか？

な……！

その反応で  
わかります  
童貞ですね

素晴らしいですね  
条件びったりです

条件って  
何が？

ふふ……  
太くて、固くて……  
素敵なモノを  
お持ちですね

俺の●棒を触りながら  
そんなにうっとり  
しないでくれえ!!

ふふふ、史緒さん！  
女の子がいきなり  
そんなこと……っ



私、男の娘  
ですよ？

えっ!!  
男の子!!

いや、でも……  
こ、こんないけない  
ことを……

私は嬉しいですよ  
行人さんが興奮してくれて……  
だから、もっと喜ばせたいんです

よ、喜ばせるって……  
俺は普通に  
女の子が好きで！



アノアノおききだろ……  
最後まで  
やらなれてしまおうじゃ……

こ、こんなの  
ただの生理現象だから  
離してくれっ……

強情なんですね……  
でしたら……わたしが  
女の子と変わらない  
証拠を見せてあげます

えっ……





はむう……ちゅるう  
ちゅぷう……ん……

はぐはぐはぐはぐ!!!

舐められてる……  
ふ、史緒さんのお口で……  
俺の●棒が……あああっ!



ふふ……  
行人さんのオ×××  
私が食べちゃいました

どうですか？  
男の娘の  
×××フ●ラは  
……はむう……

くうっ……！

男なのに  
なんて……  
エロっ……



女の子のように  
オ×××は出来ないけど……  
お口×××なら男の娘でも  
できるんです……ん……

それに……  
同性同士ですから  
×××のクセとか……

あめあめあめあめっ!!

ほら、もう抵抗できませんよね  
ふふ……、童貞×××は  
私のお口の気持ち良さ  
味わうのが精一杯……

ふんふん

ふんふん  
ふんふん

ふんふん

ふんふん

ふんふん

ふんふん



そ、そんなわけ  
ない……だろ  
はあ……はあ……

はむっ！  
じゅるるっ！

!!!

はむっ！  
じゅるるっ！

はむっ！  
じゅるるっ！

はむっ！  
じゅるるっ！

ほら、簡単に私に  
屈服しちゃいます……  
クスクス……

このまま男の娘の  
お口×××の気持ちよさを  
体に染み付けるために……

今からたっぷり  
射●するまで  
×××フ●ラ  
してあげますね

お、俺を……  
落とすつもり  
なのか……

ちゅっ  
ちゅっ

ちゅっ  
ちゅっ

もう女の子じゃ  
満足できないように  
してあげますね

ちゅっ  
ちゅっ





ああ、×××を口に  
含んでいるだけで  
こんなに身体がうずいて……

お口がどんどん  
オ×××の味を覚えて  
行人さん専用のお口×××に  
変わっていきますっ……ん……

そ、そんな……  
俺のせいで……

このまま、射●させられると……  
絶対に×××の味  
忘れことができなくなる……

キュッ

キュッ

キュッ

はぁ

はぁ  
はぁ

キュッ



これじゃ……  
私のほうが先に  
行人さんの××××虜に  
なってしまう……

そんなこと……  
男同士なのに……

男同士とか  
関係ないですよ……

私は清楚な巫女ではなく  
行人さん専用の男の娘  
●隷になりたい……





毎日毎日、行人さんの  
×××のことしか考えない  
とってもエッチな男の娘  
飼ってみたいありませんか？

なっ……！

これは  
想像しただけで  
……やばい！

あまりのエロさに  
魂までもって  
いかれそうだ……

ぬっ  
ちゅっ

ぬっ  
ちゅっ

ぬっ  
ちゅっ

んっ  
んっ

んっ  
んっ



私を……  
このオ×××に  
ご奉仕させてください

ゴクッ……

こんな可愛い子が……  
俺の●棒を  
求めてくるなんて

行人さん……

たくさん気持ちよく  
なってください……  
はむっ……



くうう!!!

はあ……はあ……オ×××行人さんのオ×××とっっても素敵です……

はあ……だ、ダメだ……も、もうっ……あああっ!!

どきどき

どきどき

ジュッ

ジュッ

ジュッ



はあ……嬉しい  
行人さんの×××ミルク……  
はあ、ちゅるっ、ちゅぱっ！

お……男の娘の私のお口に  
流し込んでくれるんですね

くううううっ！  
ダメだ……  
あああっ！！

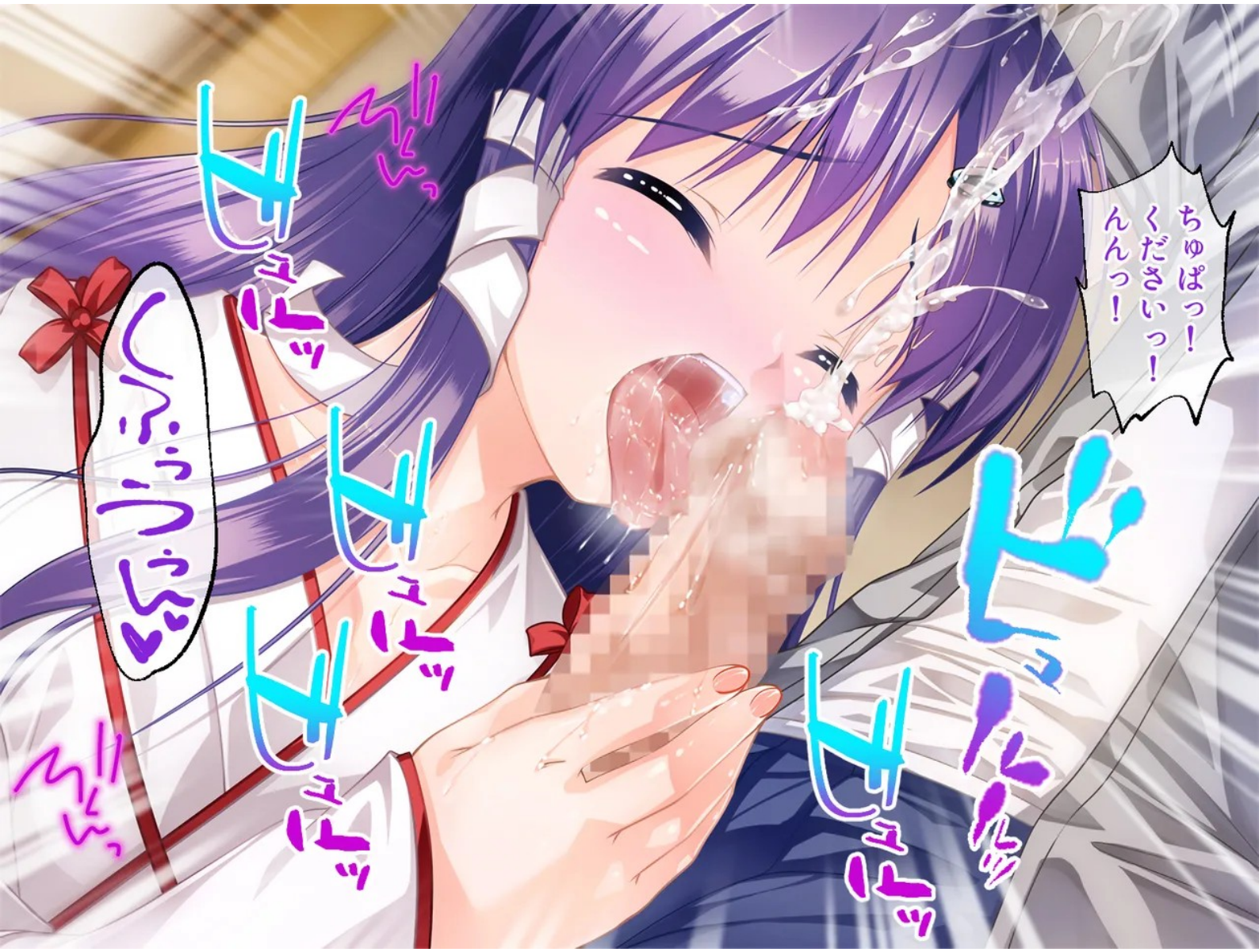
たっぷり射●して  
ください……はむっ！

キュッ  
キュッ

キュッ

キュッ

キュッ



ちゅぱっ!  
くださいっ!  
んっ!

التيه واليه



はあ……男の人の  
ザー●ン……んむっ……  
こってりして素敵……  
んくっ……んくっ……

くっ……  
史緒さん……  
エロすぎる……  
ああっ……

ああ……行人さん  
こんなに出して……  
はあ……ああ……

くっくっくっ

くっくっくっ

くっくっくっ

くっ

くっ



ちやんと……  
綺麗にしないと……  
私のお口で……ん……

はま  
♡

さくら……  
飲まれていく  
……くう！

フキヤム  
フキヤム  
フキヤム

はま  
♡

はあ……ん、ちゅっ……  
ちゅるっ……ちゅるっ……

はま  
♡

フキ  
フキ

フキ  
フキ

フキ  
フキ

こっそりした精●  
……ご馳走様でした

ふんふん

疲れた……  
そして眠い……  
もはや、史緒さんに  
何かを答える気力もない

大の字になって倒れると  
心地よい疲労と  
罪悪感が身体を襲う

行人さんがやって来て  
ようやく私の渴いた心が  
満たされたんですよ

どうかこの遅いもので……  
これからも  
私を満たしてくださいね

戦乱、戦乱、戦乱……  
軍勢が干戈を交え  
いくつもの田畑が焼かれ  
飢餓は天地を覆い  
村々に死葬が連なる


これは夢……

気が付くと  
俺は昔の  
葛尾木村に居た

男が一人  
女を胸に抱きながら  
声を上げて泣いていた

私を置いて  
先にいかないでくれ

ごめんなさい……  
出来れば……  
一緒に老いて  
死にたかった



神であるあなたなら  
ずっとこの地に留まることが  
できたはずなのに

それはあなたと  
出会ったからよ

私は神のくせに  
人と結ばれ、子孫を残し  
老いて死んでいく

私は満足よ

自分がこの村に  
来てしまったから……

もう会えないのか？

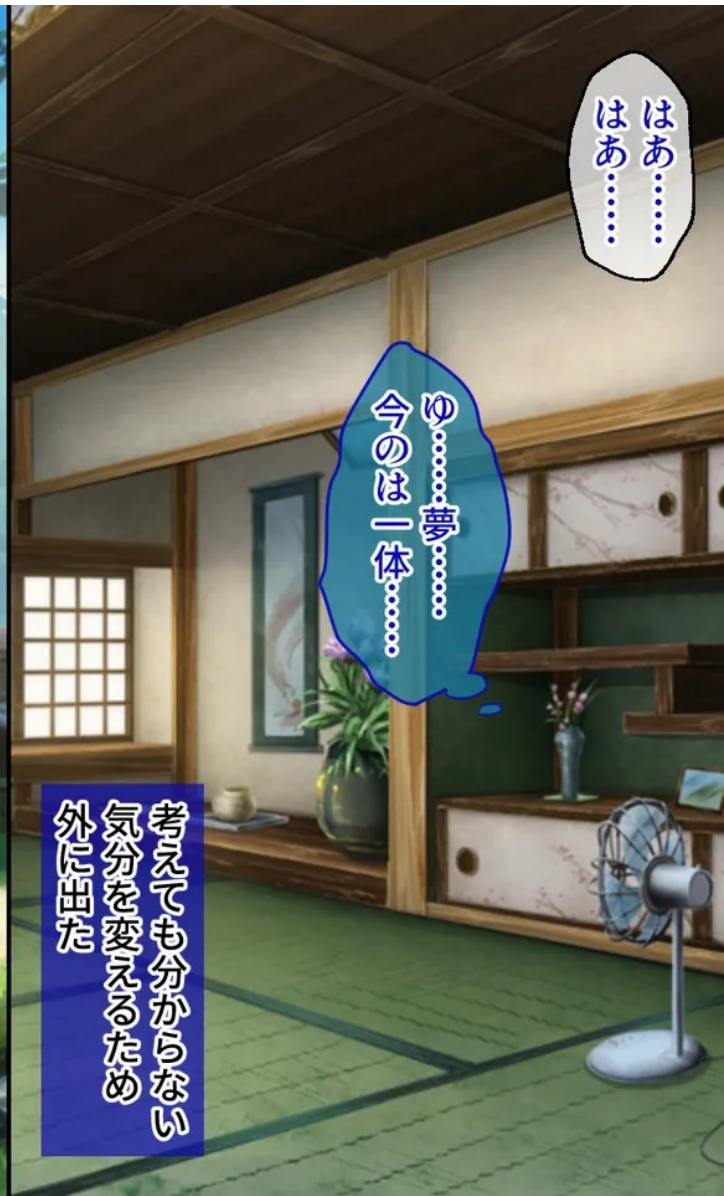
私はまた復活します……  
いつの日か運命の比翼の  
契りを得るために  
私達は再びこの地で  
出会うでしょう



ん?  
この水は……

あれ……ここって  
さっき  
夢でみたような……

一回すくって飲んでみると  
透き通るような冷たさが  
咽喉に流れていく



はあ……  
はあ……

ゆ……夢……  
今のは一体……

考えても分からない  
気分を変えるため  
外に出た

おちみず  
変若水といひまして  
この神社の  
名物なのです

ふ、史緒さん

巖神様の力がこもった  
この霊水を飲むと  
男の娘でも×××を  
作れるようになるんです

え……

男の娘を孕ませる  
力があるなんて  
到底思えない……

味も普通だし……





な……なんだ  
これ……

体が急に  
熱くなって……  
はあ……

出したい……  
気持ちよく……  
なりたい

行人さん……  
辛いのなら  
言ってください

私の体を使って  
くれたらいいんです

ドキッ

ドキッ

ドキッ

ドキッ

ドキッ

人目を避けるように  
社の裏側に  
連れてこられた

はま、  
はま、  
さ……今からたっぶり  
気持ちよくして  
あげますからね……

そんな……駄目だよ  
手コキが当然みたい  
にくう……触ってきたら……

当たり前ですよ

男の娘は

男の人のオ×××を

気持ちよくするのが

お仕事なんです

ここに居る以上は  
これが行人さんの日常に  
なってくるんですよ♪

こんな気持ちいいことが  
日常になるなんて……

毎日一人でシコシコしていた  
寂しいオ×××は……  
もう、男の娘の管轄なんです  
これからたろっぷり  
射●させてあげますからね

くう!!





ああ……  
ふ、史緒さん……

ハッ……♡

ふふ……ほら  
行人さんのオ×××  
私の手で大人に  
しちゃいました

私の手で  
行人さんを大人に  
できるなんて……  
光栄です

オ××××むきも  
お口×××童貞も……  
私が行人さんの  
初めての相手……  
クスクス……

ハッ……♡



巫女なのに  
エロすぎる！

素敵です……  
はあ……

男の人特有の  
このにおい……

ドキドキしてきて……  
私のほうが  
夢中になっちゃう

クスクス……私の手技で  
すっかりオ×××  
トロトロになって  
しまいましたね……

ふ……♡

フムッ

フムッ  
フムッ

フムッ

フムッ



ほら……  
もうオ×××のほうは  
男の娘でもいい

女の子より  
気持ちいいって  
囁いています

そ、そんな  
ことは……

じゃあ、少しだけ  
本気だしちやいますよ

ドキッ

ドキッ  
ぎゅっ

ドキッ  
ぎゅっ



いぢぢぢぢ……  
ほら、シロシロって

はま

はまぢぢ!!

ふふ……  
気持ちよさそうですね  
行人さん  
まだまだいきますよ……

うあああああっ!

はま  
はま

はま

はま  
はま

はま

はま  
はま

はま  
はま



だ、駄目だああ!!

あ、あれ……  
射●?

びやっ!

びん

びん

びん

びん

30



そんな……私  
少しだけ強くした  
だけなのに……もう？

はあ……  
はあ……

くっくん……

ドキ

ドキ  
ドキ

ササ  
ササ

ササ  
ササ

ササ

クスクス……  
いいんですよ  
謝らなくて

行人さんが  
気持ちよければ  
私は満足です

史緒さん……

でも、これから  
気持ちよすぎてつらい時は  
ちゃんとやってくださいね

もっと気持ちいいの  
我慢しないと  
オ×××成長しませんから

成長って……

んんん……

このまま弱いオ×××で  
私のオス×××に挿入したら  
行人さんはすぐに射●する  
ことになるじゃないですか

なっ……  
そ、そんなバカな  
んなことには……

いいえ  
そうなたっちゃんですよ

女のコじや  
絶対に味わえない  
男の娘特有の気持ちよさ  
があるんですから

ぐくぐ……



手コキだけでこんなに  
気持ちいいんだ……

そんな魔性の気持ちよさを  
兼ね備えた体を作っている  
かも……

分かりました？

あ、ああ……

じゃあちやんと  
オ×××が強くなるまで  
私が面倒をみて  
あげますからね

三三三

三三三



わたしに  
任せて  
くださいね♪

だ、駄目だよ……  
これ以上する  
なんて……ああ！

そうですか？  
本当に、オ×××ミルク  
出したくないですか？

さっき  
気持ちよかったですよね？

ぬちゅっ  
ぬちゅっ

ぬちゅっ  
ぬちゅっ

ぬちゅっ



さきほどの快感……  
もっと味わいたく  
ないですか？

はあ……  
そんな

私の手コキで  
恥ずかしい気持ちとか  
男同士のこだわりなんて……  
射●と一緒にどんどん  
吐き出してください

ぎゅ  
ぎゅ  
ぎゅ

ん？



ちゃんと  
男の娘とセックスできる  
エッチな×××になるまで

私がナデナデして  
あげますからね♪

はうう！  
くう……！

ふふ……  
気持ちよさそうな顔……



私も、行人さんの  
オ×××扱くの  
夢中になっちゃう……

はあ……×××  
もっと……  
扱きたくて……

そんな……  
早いつて  
……ああっ！

行人さんのオ×××で  
射●……ああ……  
×××、×××ミルク……  
もっと見たい……

ゴッぽろ

ゴッぽろ

ゴッぽろ

ゴッぽろ

ゴッぽろ

ゴッぽろ



はああう！  
だ、駄目え……  
あああっ！

出して……はあ……  
出してください  
×××ミルクたくさん  
私の胸にかけて……っ！！

あっ♡

あっ♡

ドクッ

ドクッ

ドクッ

ドクッ

ドクッ

ドクッ



うあああああっ!!

ふふ……出てる  
出てる……  
白い×××ミルク♪

ニャニャ

ニャニャ

ニャニャ

アッアッアッ

アッアッアッ

ニャニャ



ふふふ……  
出ちやいましたね  
こっぴりたまった  
×××ミルク

見てください  
男の娘の胸に  
こんなにかけて……

私の胸はもう  
行人さんの射●専用です……  
どんどんエッチな  
体になってしまいます……

フキヤマ……

ふ、史緒さん……

きゅ



ふっ...

このままじゃ  
私の胸を見るたび  
この時の気持ちよさを  
思い出して、勃起して  
しまいそうですね♪

んっ♡

ふふ……  
次はもっと気持ちよく  
させますから

オ××××  
また射●して  
くださいね

……俺マジで女の子に  
勃起しなくなってる  
しちゃうかもしれない

んっ♡

んっ♡





ふふ……小さい  
おっぱいですけど  
気持ちいいでしょ？

男の娘の体って  
意外と柔らかいんですよ

うううっ！  
いいいけない……

……？  
なんですか？

史緒さん  
こんなことしたら  
いけないんだよ

一事の激情に駆られて  
性欲で史緒さんを  
汚すなんて……

ふふふ

たっ

たっ

たっ

これ以上、エッチなことをさせると  
史緒さんはますます  
男の娘に覚醒してらっしゃる！

そんな……どうして  
欲しいって言って  
くれないんですか？

こんなにしているのに……  
ちよっと寂しいです  
私の気持ち、迷惑ですか？

おは  
い

そ、そんな上目遣いで  
おねだりされても！

ねえ……言ってください  
オ××××気持ちよくして  
欲しいって……

私の顔に白くて  
こっとりした精●……  
出したくないですか？

きゅ♡

きゅ♡

なんて  
おねだり魔力だ……

だ……  
駄目だっ！

そんなあ……

だいたい……  
史緒さんは包容力があるから  
姉かな……そんな  
親しみやすさがあるんだ

だから  
姉に対して……  
そういうことは……

姉……  
お姉ちゃん  
ですか？



姉が相手だから  
余計に興奮する  
そういうわけですね！

え……？

なるほど  
姉プレイですか……

たろ

いいですよ、それじゃ  
お姉ちゃんが  
オ×××優しくシコシコして  
身体に溜まったこっぴり精●  
たくさんだしてあげますからね

ほら、皮がめくられて  
立派な亀頭が  
こんにちわしてますよ……

ふふ……  
お姉ちゃんに剥かれて  
慣れない刺激に  
ピクピク震えてる

ちよ……  
史緒さん……!

ふふ……お姉ちゃんの  
乳×××でゴシゴシして  
回りについでるカスを  
全部お姉ちゃんに  
こすり付けていったね

ゆき

ゆき

ゆき

ああ……  
そんなことしたら  
史緒さんの体が  
汚れてえ……!!

気にしなくていいの  
この×××の匂いが  
たっぷり詰まった  
とろとろチーズ……

お姉ちゃんの  
大好物なんだから

くう……!!

くう……!!  
男の娘のパイ●リ  
なのに……





ますり……  
ますり、ますり！  
お姉ちゃんプレイになって  
ますます、興奮してしまっ！

た、頼むから  
離して……ああ！

もう……お姉ちゃん  
イジワルしちゃうよ？

「エッ、エッ」

弱まったとはいえ  
微妙な刺激が……

くう……

うふふ……  
すぐにいけないから  
もどかしいでしょ？

こんな風にイジワル  
できちゃうんだよ

！！にゅっ

！！にゅっ  
！！にゅっ

だから全部お姉ちゃんに  
任せればいいの  
行人君はお姉ちゃんに  
射●することだけ  
考えてればいいからね



ちよ、ちよっと  
待って……  
あああっ！

ほらほら  
気持ちいいね  
行人君

きゅ  
きゅ  
きゅ

きゅ  
きゅ  
きゅ

ああ……もう  
何も考えられないうっ！

これから一生  
お姉ちゃんとして  
責任とってあげる

ずっと、ずっと……  
オ×××気持ちよくして  
あげるからね





お、お姉ちゃん  
……くう！  
もっと……ああ  
もっとしてえ！

たっぷりたくさん  
感じさせてあげる  
お姉ちゃんの胸で  
オ×××甘やかして  
あげるね

はぎ

はぎ

はうらう！  
くうう！  
お、お姉ちゃん！



お姉ちゃん  
もう……くう！  
もう出しちゃうう！！

はむう……ん……  
行人君の×××ミルク……



こんなに、たくさん  
射●してえ……

ああ、もう、飲むのが  
間に合わないよお……  
ん……くちゅう……

くうううっっ！  
お姉ちゃん……

愛しい弟君の×××汁……  
お姉ちゃんがすぐにお口で  
キレイにしてあげますからね……  
はむう……ん……

しゅっ

しゅっ

しゅっ

しゅっ

しゅっ

しゅっ

しゅっ

くわっ

くわっ

くわっ

はい、終わりましたよ  
行人さん  
お疲れ様でした

もう、終り……  
なのか……

少し  
残念な気がするのが  
ちょっと怖い

フ  
キヤマ……



もうこんな時間……  
ちよっと、夢中にな  
りすぎてしまいました

そ、そうだね……

嬉しそうだな  
史緒さん  
……でも

数日間ともに生活し  
この村には  
子孫を残せる若い男が  
いないことがわかった

そして若い男ばかりが  
亡くなる病が流行ったことも



村の人口危機の折に  
トンネルから現れる男を  
昔から御使い様と呼び  
その男は男の娘と結ばれ  
村を救ったという

それが  
史緒さんの  
役割……

史緒さん  
一つ訊きたいことが  
あるんだけど

はい  
なんででしょう？

史緒さんは……  
俺のことどう  
思ってるの？

それは勿論  
大好きですよ

そうか……  
でも、それって  
俺が御使いだから  
じゃないの？

史緒さんは  
本当に俺を見て  
好きって言えるの？

言ってしまった……

えっと……  
私……

……

ん？



行人さんのことは  
一目惚れですから♪

ひ、一目……惚れ……？

はい♪  
本当にあるんですね  
一目惚れって

私、未だに  
ドキドキしてますよ

なんだ  
この胸の  
どれめおは

もじもじ

もじもじ



なんだろう……  
この女神のような笑顔

遠い昔に  
見たことがあるような……  
そうだ……俺は  
コレを求めて遠い旅路を……

どんどん、心の奥から  
史緒さんに対する  
愛情が溢れてくる

私のこと  
本気で心配して  
くれたんですね

ありがとうございます  
ございます  
行人さん

俺はこの人を  
守りたい……

帰宅後  
一緒にお風呂に入る  
ことになったのだが

なんて格好を  
しているんだ  
史緒さん！

ばっ

ふんふん

私のこの身体は  
いかがでしょうか？  
ご満足いただけそうに  
ありませんか

あ……  
いや……



クスクス……  
ようやくこつちを  
見てくれましたね  
行人さん

これで、オ×××を  
洗って差し上げることも  
もちろん可能ですよ？  
いかがですか……

んっ♡

くっ……  
なんていやらしい  
誘惑をしてくるんだ  
史緒さんは

おんっ

ふふふ……とつても  
期待している顔ですね

どうですか、そろそろ  
×××ゴシゴシして欲しいって  
言いたくなって来ましたか？

はぎ♡

くう……駄目だ  
そんなことは……

はぎ♡

じゃあこの手で  
直接扱いて差し上げる  
というのはどうでしょうか

はぎ♡





ほら……  
こういう風に……  
ん……はあっ……

ああ……そんな  
目の前で  
扱くなんて……

あっ♡

あっ♡

ゴッゴッ

まずらあの時の  
感触を思い出して……  
●棒が疼いてきた……

んっ

ゴッゴッ

ゴッゴッ

ゴッゴッ

んっ

とっても  
辛そうですね……  
行人さん

いっそのこと  
射●するまで二人で  
オ×××を扱きあいなど  
いかがでしょうか？

し、しごきあい  
……だとう？

ハッ  
ハッ……♡

ほっ♡

はい  
オ×××を重ねて……  
私と一緒に、オ×××で……  
遊んでみませんか？

ほっ♡



くう……  
そ、そんなこと  
出来るわけが……  
はあ……

そうなると……  
最後はやはり  
ここ……ですね

トロトロのお肉が詰まった  
男の娘専用オ×××です

んっ……

と、トロトロ……

ふふふ……この穴で……  
行人さんのオ×××を  
お肉でおもいっきり  
ゴシゴシ洗ってあげますね

んっ……

いっほ



あ、洗う……

はあ……  
いけない……  
頭が朦朧として……

ね……行人さんの  
固いオ××××を  
私のオス××××で  
洗って差し上げるだけ……

はま〜……♡

ふ……史緒さんに……  
くう……洗ってもらおう  
洗ってもらおう……だけ!!

んんん

んんん





クワッ  
クワッ  
クワッ

おま

はうらうらうらう!!!

はあ……  
入ってる  
私の中に……

行人さん……童貞喪失……  
おめでとうございます……  
ああ……ああ!



そのまま  
行人さんの欲望のまま  
激しく腰をうちつけて……  
私の柔らかいお肉を使って  
精●を搾り出して下さい

はぁ♡

はぁ♡

ズキ  
ズキ

はぁ……行人さん……  
とっても  
気持ちよさそう……

もっともっと……  
私のオス×××で  
気持ちよくして  
さしあげますね……

んっ♡

ズキ  
ズキ



くああああっ!!

ほら……こうして  
きゅって……  
搾ると……  
ああ……んっ!

魔性の快楽を秘めた  
史緒さんの体……  
こんなの味わったら……  
もう二度と  
戻れなくなりそうだ

きゅん

ん

ん

きゅん

きゅん

きゅん

きゅん

きゅん



そんなに……  
私にオ×××  
搾られるのが  
嫌なんですか……

いやその……  
嫌って言うか……

きゃ♡

ん♡♡♡  
ん♡♡♡

あ……行人さん  
抜かないでください！

う……



今だって  
どれだけ我慢を  
しているか

え……？

俺は史緒さんのことが  
好きだし、別に  
セックスするのも  
嫌いじゃない……  
というか史緒さんと  
Hしたくて  
たまらない！

zzz

zzz

zzz

はぁ  
はぁ

史緒さんは  
俺の理想の  
女の子なんだ

ああ、でも  
今ソレを言っ  
てしまったら……

我慢なんてしないで  
お願いですから……  
最後までシテください

私のオ×××で射●して  
ちゃんと私の体で  
気持ちよくなれるって  
証明してください

「エチャッ」

くう……!



ああ……  
ふ、史緒さん！

そ、そんな……  
か、可愛いだなんて……  
ああん！

こんなに可愛い男の娘から  
そんなことを言われたら……  
我慢できるわけじゃないじゃないか

あ、

あ、

どき

どき  
どき

うん  
うん  
うん

うん  
うん  
うん

ひん  
ひん

ひん



行人さん……  
はあっ!  
激しいい!  
んんっ!

くう……  
き、気持ちよくて  
……ああっ!

ああん……  
し、知りませんでした……  
はあ……愛しい人に  
求められるのが……

こんなに気持ちいいこと  
だったんだなんて……  
ああっ!

あっ

あっ

IP  
IP  
IP

IP  
IP  
IP

IP  
IP  
IP

あっ

IP  
IP  
IP



こんな体の奥まで……  
ああ、行人さんのオ××××に  
犯●れて……  
オ××××変わっちゃう！

行人さん専用の  
オス××××に  
なるうっ！

俺専用の……  
あああっ！

だって……  
か、体のほうが  
覚えちゃいますうっ！

オ××××味  
覚えちゃって……  
あああっ！

もう、もう  
離れないのお！

あ  
あ

あ  
あ

グ  
グ

グ  
グ

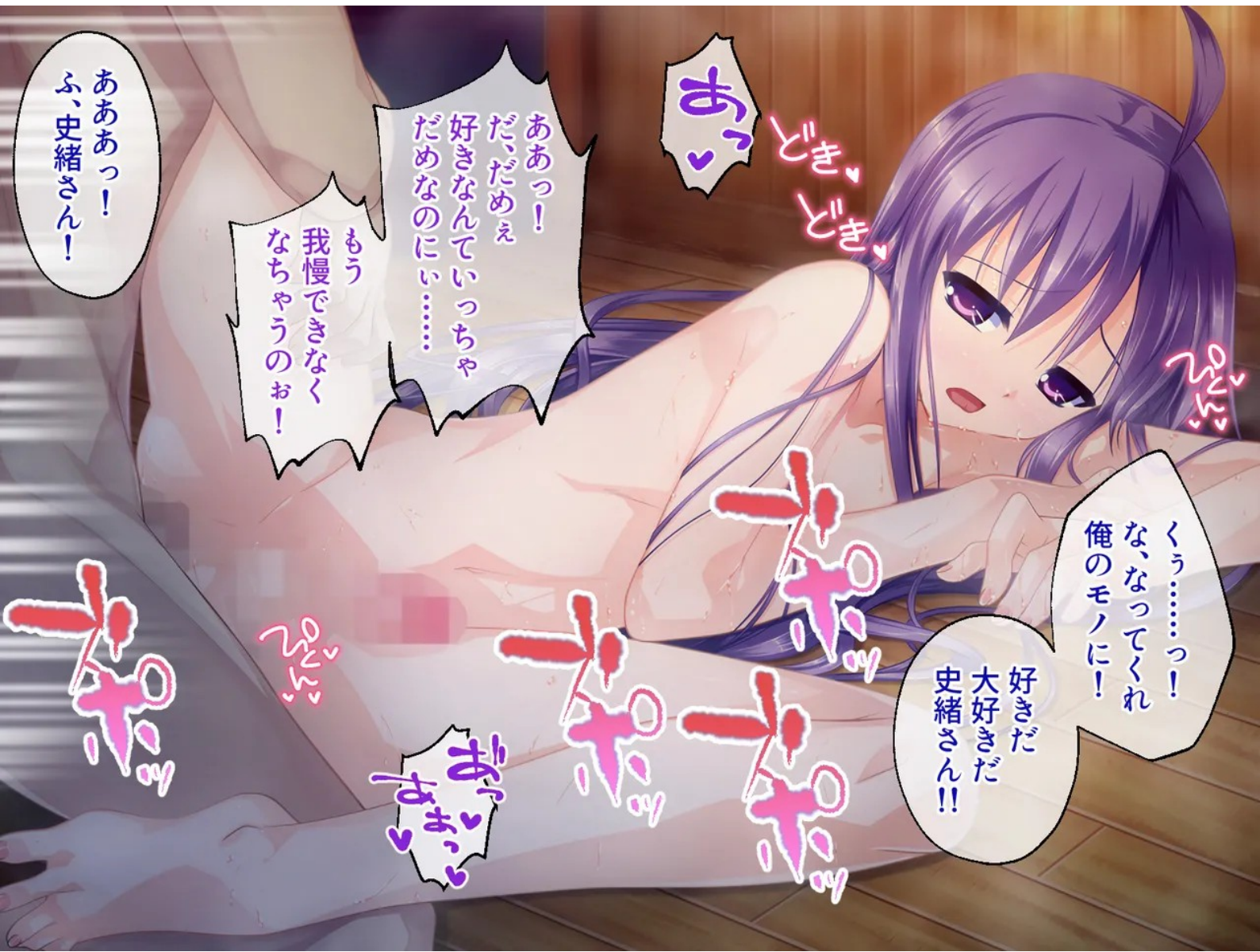
グ  
グ

グ  
グ

グ  
グ

グ  
グ

××××  
××××



あああっ!  
ふ、史緒さん!

もう  
我慢できなく  
なっちゃうのお!

ああっ!  
だ、だめえ  
好きなんていつちや  
だめなのにい……

あっ

どきどき  
どきどき

あはは

くう……っ!  
な、なっしてくれ  
俺のモノに!

好きだ  
大好きだ  
史緒さん!!

あはは

あはは

あはは

あはは





はうはうはう!!

はあああん!  
オ××××オ!  
オ××××で  
オ××××イかう

だから...だから  
男の娘オ×××に  
変えてください!

行人さん専用の  
オ×××になるう!



くうっ!  
史緒……さん……

あ

ふああ……  
暖かい……  
赤ちゃん汁が……  
こんなに……  
孕んじゃうう……  
行人さんの×××  
出来ちゃいますう……

た

せ

あ

せ

た



はぁん……んはぁ……  
私が……初めての人……  
ですよ

うん……  
史緒さんも  
俺が始めてだよ

はい……  
私……今夜のこと  
絶対に忘れませんから

はぁん……♡

ん……♡

はぁん……♡

ん……♡

ん……♡

それから数日後

お風呂にしますか？  
ご飯にしますか？

それとも  
私を召し上がりますか？

今日はとうとう  
プレイなのか……!?

ご、ご飯かな

わかりました



私を食べたいんですね  
旦那様の要望に  
応えるのが妻の務め

いや……  
その……

ぬるっ  
ぬるっ  
ぬるっ

アロ  
アロ

ムシャッ

しゃん

はいどうぞ  
男の娘の  
蜂蜜かけです



いかがですか？  
こういう趣向で  
男の娘を召し上がった  
いただくというのは

いいんですよ  
我慢しなくても……  
本当は、このオ×××……  
味わってみたいんですよ

とてつもない  
破壊力だ……



くっ……

俺の目の前で  
そんなだ  
勃起させて……

はぁ♡

はぁ♡

行人さんに……  
旦那様に見られていると思うと……  
オ×××が疼いて……はぁ  
こんなに硬くなってます



はあ……はあ……  
でも……そんな  
でも……●棒だなんて……

クスクス……行人さんは  
男の娘の私をお嫁さんに  
したんですから

本当は、私の身体を  
味わいたくて  
しょうがないはずですよ

ふん……♡

そうですね  
あ・な・た





くち……!  
も、もう……!  
我慢できない!!

あああ!  
す、すごい……  
旦那様にオ×××  
舐められちゃってるう……!

びしょ  
びしょ  
あ  
水、水、水

水

水



やあああ！  
オ×××がそんな  
下品な音を立てて……

はあ……  
行人さん  
すごい……

男の娘の身体を  
こんなに  
昂ぶらせるなんて

あ  
あ  
あ

あ  
あ

あ  
あ

あ  
あ  
あ

もう行人さん……  
そんなに気持ちよく  
させるなんて……

じゆる……  
もっと……もっと  
舐めたくなる……

あ  
あ  
あ

私を……私を本気で  
お嫁さんにする  
つもりなんですか



毎日毎日……  
旦那様にお好きなかだけ  
オ×××ミルクを提供する……  
射●●隷です……あああっ!

そ、そんなこと  
言ったら……もう!

あああっ!  
一気に……んんっ!  
一気にお口にもって  
いかれちゃううっ!!



やああ!  
すごい!!  
オ×××すごくで  
……あああっ!

もう行人さんしか  
……あああっ!

こんなに気持ちよくなったら……  
行人さんしか  
見れなくなっちゃううう!

そういう風に  
してやるから……  
ん、もう俺しか  
見えないように  
……んっ!

ああ……!  
嬉しい  
行人さん……!

あははは  
あははは

んっ  
んっ

んっ  
んっ

んっ  
んっ

んっ  
んっ

んっ  
んっ

んっ  
んっ

んっ  
んっ



すぐに美味しい  
トロトロミルク……  
ご馳走しますからあぁっ！



はあ……  
ああ……  
ご満足して  
頂けましたか？

はぁ〜♡

はぁ〜♡

すごいよ  
史緒さんの……精●

とっても美味しくて  
甘くて喉に  
絡み付いてくるんだ……



こんなの味わったら  
女の子なんて  
どうでもよくなってくるよ……

そう……男の娘の  
気持ちよさを……  
どんどん体が  
覚えていってしまう

ふふ……  
次のおままごとも  
期待しておいてくださいね  
旦那様？

本当に、この人は  
小悪魔だと思った

遠くに行きたい……

思えば俺の旅は  
そもそも女に振られた  
時点から始まった

史緒さんに煽られて  
セックスしてしまったけど  
俺の心は未だに安住地を得ない

出て行きたいですか？

ふ、史緒さん

私は行人さんに  
黙っていたことがあります

この村は巖神様の結界があつて  
御使い様がお役目が済むまで  
結界により村に閉じ込められる  
ようになってるんです

……その  
役目って？

それはもちろん  
男の娘との  
子作りですよ



色々と言句を  
言いたくなる  
酷い設定だ

でも……私の方で  
無理やり結界をこじ開ければ  
あのトンネルを通って  
出て行くことができます

本当に出れるの？

恋愛とは  
難しいものですね

私は行人さんを  
好きになって  
行人さんも私を好きに  
なってくれたら

それで全てが  
終わるものだと  
思っていました

でも……  
身体をあわせただけでは  
何も始まってなかったんですね

私、やっぱり  
世間知らず  
だったみたいです

史緒さん……

行人さん  
あなたは間違いなく  
私の運命の人  
私の御使い様

史緒さん！  
だったら  
俺と……  
俺と一緒に



それでは……  
外に出て私と一緒に  
なってくれるんですか？

私は絶対に  
行人さんを裏切りません  
同じだけの想いを  
私にささげていただけますか？

わかった……  
一緒になろう！

史緒さんに  
俺の全てを捧げる！  
だから！

行人さん……  
嬉しいです……  
今の言葉を聞いただけで  
……私は十分です

それじゃ……

私には、巫女としての  
お役目がありますから……  
外に出るなんて……夢物語

史緒さん……

行人さん  
例えお役目を果たさず  
外に出てしまっても  
あなたは私の御使い様です

お会いできて  
嬉しかった

明日、結界を解きます……  
行人さん……  
外の世界でもお元気で

行ってしまった……  
夜のひんやりした風が  
身体を冷ましていく

本当に……  
史緒さんをここに置いて  
出て行って  
いいものだろうか……

俺は史緒さんの  
ことが好きだ

だが……確かに  
史緒さんと一緒になれないまま  
外に出たほうがいいんじゃないか  
という気持ちもある

ああもうっ  
巖神!

お前が、本当の  
神だと言うのなら!  
頼むから史緒さんを  
解放してくれ!

俺は史緒さんと……  
一緒になりたい  
だけなんだ!

社に向かい念じると  
光が俺を包み込んだ

……この感覚  
前にも……

それは、失われた  
村の記憶だった

疫神に若い女ばかりがやられた  
村を捨てるしかない  
村人達の嘆き、苦しみ  
怨み、悲しみ、絶望の感情が  
脳裏に直に響いてくる

そこに御使いが現れ  
その力をもって  
疫神を封印する

巖神は  
村人達の願いを  
聞き届けた

村人達の中から  
見目麗しい男を女装させ  
神の力によって  
×××を授かる能力を与える

そうやって  
巖神は村人達を救った

そして  
場面が変わった

村人たちは  
納得したようですね

史緒さん！

本当に  
やるのですか？  
巖神様




これは巖神と  
俺の前世の記憶……

そうか、俺は  
この人と……  
この人のために……!!

えやみの神の  
呪いを鎮めるために  
私はこの土地に  
身を鎮めないといけません

それがこの地を守る  
神としての私の役目とあらば  
いたし方ないでしょう

……俺はあなたと  
結ばれたいんだ



神は不滅  
私は時が経てば  
再び顕れます

今が駄目なら百年後  
百年が無理なら  
千年の後に再び  
相まみえよう

では、千年の後に……  
私達が再び相まみえる  
その時のために……



本当は  
いけないことなのに

神としての力を  
一人の男に奉仕して  
精をはきだし

孕むために  
行使するなんて……

はき♡

もう……本当は……  
この世のものとは  
思えないっ!

はき♡

ふふ……  
こんな悦び神では絶対に  
味わえませんでした……

きゃ♡

ズキ  
ズキ

あ♡

ズキ  
ズキ

いけないことなのに……  
どんだんあなたに  
心を奪われていく

いけないこととは  
分かっている……

でも……  
あなたを愛さずには  
いられないんだ！

嬉しい……  
もう……なんの  
遠慮もない……

最後の一瞬まで  
あなたに女として  
奉仕します……  
はあ……っ！

くうううう！

♡♡♡  
♡♡♡

い、今のは……  
一体……

はま〜ん……♡

これで完全に  
私の体の中は  
女の×××……  
いえ、それ以上です……

お……女……  
女、以上……

はま〜ん……♡

さあ……きて……  
わたしの旦那様……  
神をおとしたその●棒で  
私を貫いて

ずっとずっと……  
千年の後まで忘れないように  
あなたのモノだって  
精●で私の一番深いところに  
あなたを刻み付けて



体がひらくう!  
どんだん反応して  
×××内が  
孕みたがってるのお!!

いいのお!  
そのまま犯●てえ!

あなたの大事な大事な  
子種私に頂戴っ!  
私に精を出して  
ちゃんと孕ませてええ!!

こ、こんなの……  
か……体が!  
もう、もたない!

ズ!  
ク!  
ク!

ズ!  
ク!  
ク!

ズ!  
ク!  
ク!

あっ  
♡

あっ  
♡  
まっ  
♡





はうはうっ！

あああ、嬉しいい！  
大好きなあつたかい  
精●汁でえ……  
×××内が満たされるう！

ああっ、●棒で  
体が完全に  
支配されるう！





あひい……凄い  
完全に女に  
女になっちゃううう！

に、●棒が……  
ああ、精●熱い！

ああっつ！  
体の一番奥が精で  
溢れてるうううっつ！！

ほっ  
♡♡♡

あ  
♡♡♡

あ  
♡♡♡

せ  
♡♡♡

せ  
♡♡♡

せ  
♡♡♡

せ  
♡♡♡

せ  
♡♡♡

はあ……こんなに  
たくさん精を放って……  
完全に女として  
抱かれちゃった……

ありがとう……  
私を女として  
抱いてくれて……

確かに……  
子種を孕んだわ  
私とあなたの  
大事な×××……



ねえ、大丈夫よ……  
例え男同士でも  
幸せはあるのよ……

それに……  
こんなに素晴らしいものが  
罪だなんて、あるわけないわ

え……  
俺で言ってる？

ああ……  
愛しい人よ……

時の流れの果て  
千年の後に  
またお会いしましょう

そうして巖神は  
この地から姿を消し  
——千年の時間が流れる

は……♡

は……♡

お気づきになりましたか？

史緒さん……  
俺は夢を見たよ  
巖神と御使いの  
過去……


……そうですか  
あの夢を

……俺たちが  
会うことは前世からの  
因縁だったんだね

そうですね……  
私達は出会うべくして  
出会った

史緒さん  
俺は……  
ようやく自分の  
役目がわかった





史緒さんを  
愛することが

行人さん……  
私はこの時を  
ずっと待っていました

史緒さんの  
後ろに……  
巖神の姿が！

自分の  
役目であり……  
俺の純粹な  
気持ちなんだ！



史は歴史を  
緒ははじまり  
きっかけを表します

私の名前は……史緒  
新しい歴史を  
紡ぐのが私の役目

今なら、きっと  
新しい可能性を開くことが  
出来ると信じています



そう……  
あなたと一緒に

私も……  
あなたのことが  
好き、大好き!

さあ私たちの  
新しい千年を  
始めましょう

史緒さん  
あなたが好きです

それから一年後  
俺たちは結婚した

もう……行人さんったら  
帰ってきて早々に  
オ×××だなんて……  
そんなに我慢  
できなかつたんですか

だって……そんな格好で  
誘惑されたら  
すぐにやっってしまうよ



ふふ……巫女が  
お腹を大きくしているのが  
そんなに気に入ってくれましたか

そ、それだけじゃ  
ないよ……

はぁ♡

はぁ♡

旦那様オ×××を  
慰めるのは  
お嫁さんの  
私の役目ですから

孕んでいても  
オ×××ご奉仕だけは  
がんばります

♡♡♡♡♡





でも、史緒さんの  
体……あぁっ……

あらあら  
男の娘のポテ腹×××  
旦那様のほうが  
はまっちやってますね……

んっ♡

クスクス……  
嬉しいです……  
行人さんにそんなに  
喜んでいただけ

んっ♡

んっ♡

んっ♡

はあ……  
私も行人さんの  
オ×××が欲しくて欲しくて  
体が疼いてたまらないんです……

うんうん

はいはい

いいえ

ですから……早く思いつき  
私のあったかいメス×××……  
オ×××で味わってください





くううう！

ああんっ……  
オ×××  
ああっ！

あっ

あっ

す、すごい  
妊娠しているけど  
いつものあったかい  
オ×××味わるなんて……

あっ  
あっ

あっ  
あっ  
あっ



男の娘は  
御使い様のためっ！

ん……いいえ  
行人さんのためなら  
どんなことでも  
しちゃいますから！

お礼は新鮮な  
オ×××から出るう！  
プリプリザー●ンで  
いいですよ……ああっ！

行人さんからいただいた  
オ×××ミルクでえ……ああっ！  
お腹にもう一人孕むことだってえ！

あっ

アッ

アッ

アッ

アッ



あああつ！  
そ、そんなに腰を  
動かしてえ……あああつ！

妊娠セックスう……くう！  
そんなに気に入って  
いただけましたかあ！

あつ♡

あああつ！  
だってっ  
こ、こんなにいい……  
気持ちいいんだからあつ！

嬉しいです……ああ  
最後の一滴まで  
オ×××搾ってええ！

あつ♡  
あつ♡  
あつ♡

そんなっ……  
根元から締められてえ  
……くう！

行人さんのオ××××でえ！  
ああっ！ お尻××××があ！  
また孕み××××になるう！

ビィ  
ビィ  
ビィ

あ！  
あ！

ビィ  
ビィ  
ビィ

きゅ  
きゅ

きゅ  
きゅ

きゅ  
きゅ

ビィ  
ビィ  
ビィ

あ  
あ  
あ

あ  
あ  
あ

ぐうう！  
そろそろ  
熱い精●っ！  
出してしまいううう！！





行人さんに  
突かれるたびに  
……ああっ！  
私のオ×××からっ！  
精●出されてくう！

妻なのにい……  
もう母親なのに……  
はあっ……オ×××から  
トコロテン精●っ……  
気持ちいい……あはあっ！

はあ……行人さんから  
幸せの種……たくさん  
いただきました……はあ……

し、幸せの……種……

はい……私を  
男の娘を幸せにしてくれる……  
赤ちゃんの素です……

ふふ……二人目  
出来ちゃったと思います

はーん……♡



ちよっ！ マジで！  
史緒さんの思いは  
大抵ありえることなんだから！

本当ですよ……それに  
この子達が大人になる頃には  
男の娘とセックスして  
×××ができるなんて  
当たり前前の世の中  
なるんだろうなって

行人さんにさっき  
受精させられた時に  
確信したんです

そんな素敵な未来に  
私達のたくさんの  
×××を連れて行って  
あげたいですね

そうだね……

……そういう  
未来も  
アリかな？



大人の禁SEXY絵本

©脳内彼女